

賀川記念館を見学して

7月12・13日の2日間、大山町人権・同和教育推進協議会主催の研修に参加しました。12日は神戸市の「賀川記念館」の見学、13日は神武天皇陵の整備にかかる洞村移転のフィールドワークでした。

「賀川記念館」は、キリスト教伝道者であり、社会運動家の賀川豊彦を記念して神戸市生田川の東岸に建設され、1963年（昭和38）4月に開館しました。兵庫県で唯一の私立の隣保館です。賀川豊彦が、当時新川スラムと呼ばれていたこの生田川周辺地域で隣保（セツルメント）活動を始めたのは、1909年（明治42）のことです。

全ての原点がここにあるといった感じで、一見まちのどこにもあるといった場所にあるのが「賀川記念館」でした。

「およそ運動と名のつくものの大部分は賀川豊彦に源を発しているといつても過言ではない」と資料にもあるように、隣保事業・医療・社会運動・農民運動・共同組合運動……等々、取り組みの幅広さに加えて、活動の場も国内を超えて世界にまで広がっていることに驚きま

した。この人には『私』が全くないと思いました。

青春時代に「死線を越える」という貴重な体験があったからでしょうか。人のこの不幸、経済面での貧しさを乗り越えるという点でみんなつながっているこれらの活動を地道に確実に実践し続けたことが現在に受け継がれ、生きてそこに幸せと確かな実感を生んでいるのだ、と深く心に残りました。

戦争が起これば反戦へ、災害が発生すれば救援の手をと、人の上に起こる不幸を「すべての人が大切にされる社会を」の視点から外れることのなかったその生涯は、まちの一角で確かに受け継がれていると感じました。

言うは易く実践は、まして継続は難しいことです。ひとりではなく、支えあうことで生まれるより大きな力を信じながら、私自身の見分ける力、つなげる力をこれからも大切にしたいと感じた研修でした。

（参加者）



人権擁護委員に押村さん

名和地区担当の人権擁護委員に、押村克彦さん（押平）が新たに法務大臣から委嘱（7月1日付）されました。

4期12年の長きにわたって人権擁護委員を務めた金田千義さん（6月30日付で退任）には、人権擁護委員としての功績に対して法務大臣感謝状が贈られました。



押村克彦さん



金田千義さん（中央）

町内の人権擁護委員を紹介します

◆中山地区 手島 孝人さん

◆名和地区 金田 和寿さん

小西 廣子さん

押村 克彦さん

◆大山地区 大塚 典子さん

辻田 稔子さん

第5回みんなの人権セミナー

「多民族・多文化共生社会の到来

～自分ごととして「外国人」の人権を考える～

◆日時 9月6日（金）19時30分～21時

◆場所 人権交流センター

◆講師 朴 洋幸（ぱく やんへん）さん